



⚠ ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。

取扱説明書

CYGNIS

XC125

28S-F8199-J4



ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明しております。

車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。

また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。

本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

	安全にかかわる注意情報を示してあります。
	取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
<b>要 点</b>	正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間

※車をゆするときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

※仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

# もくじ

---

---

安全運転のために.....	1-1	ヒューズ交換.....	6-13
あなた自身と同乗者のために.....	1-1	灯火装置および方向指示灯の 点検.....	6-15
歩行者と他の車のために.....	1-5	運行において異常が認められた 箇所の点検.....	6-15
環境・住民の方との調和のために....	1-6	こんなときは.....	6-16
各部の名称.....	2-1	車のお手入れ.....	7-1
左側面.....	2-1	洗車.....	7-1
右側面.....	2-2	保管のしかた.....	7-2
運転装置と計器類.....	2-3	アフターケア用品について.....	7-3
各部の取り扱いと操作.....	3-1	製品仕様.....	8-1
キーの取り扱い.....	3-1	ユーザー情報.....	9-1
メインスイッチ.....	3-1	二輪車を廃棄する場合は?.....	9-1
キーシャッター.....	3-2	サービスマニュアル（別売）の 紹介.....	9-2
警告灯と表示灯.....	3-3	車両情報.....	9-2
スピードメーター.....	3-4		
マルチファンクション ディスプレイ.....	3-4		
ハンドルスイッチ.....	3-6		
フロントブレーキレバー.....	3-7		
リヤブレーキレバー.....	3-8		
フューエルタンクキャップ.....	3-8		
燃料.....	3-9		
キックスターター.....	3-10		
シートの開閉（シートロック オーブナーの使いかた).....	3-10		
ヘルメットホルダー.....	3-11		
書類入れ.....	3-11		
フロントポケット.....	3-11		
トランク.....	3-12		
スタンディングハンドル.....	3-12		
サイドスタンド.....	3-13		
日常点検.....	4-1		
日常点検の実施.....	4-1		
日常点検箇所／点検内容 .....	4-1		
運転操作.....	5-1		
エンジン始動.....	5-1		
発進.....	5-2		
加速と減速.....	5-3		
ブレーキ.....	5-3		
ならし運転.....	5-4		
点検整備.....	6-1		
点検整備の実施.....	6-1		
サービスツール.....	6-2		
カバーの取り外し、取り付け.....	6-2		
エンジンオイル.....	6-3		
ファイナルギヤオイルの交換時期 .....	6-4		
エンジンのかかり具合、異音の 点検.....	6-4		
低速、加速の状態の点検 .....	6-5		
エアクリーナーエレメント、Vベルト フィルターエレメント .....	6-5		
タイヤ.....	6-7		
ブレーキレバーの遊び、きき具合 の点検 .....	6-9		
ブレーキパッドの点検 .....	6-10		
ブレーキシューの摩耗点検.....	6-10		
ブレーキ液量の点検 .....	6-10		
バックミラー .....	6-11		
車体各部の給油脂状態の点検.....	6-11		
バッテリー.....	6-12		

JAU27280

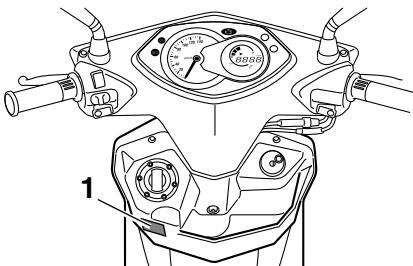
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAUT2981

## あなた自身と同乗者のために 安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。



1. 安全項目ラベル

### ▲警 告

- ・取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ・ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- ・マフラーは熱になります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ・ヘッドライトを昼間はロービーム点灯しましょう。
- ・違法改造はやめましょう。
- ・定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

5SU-F118K-00

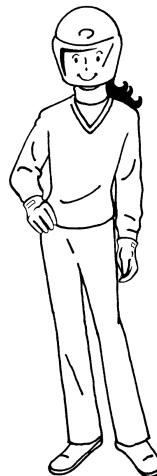
## 安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。ヘルメットはPSCまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしつくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は以下のことを確認して選び、着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
- 保護性の高い服で明るく目立つ色のもの

# 安全運転のために

1

- 動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボン



- ロングスカートやロングマフラーなどの体に密着しない服



●以下のような服装は運転操作のじゃまになります。また、回転部分に巻き込まれたり高熱になる部分に接触したりして、思わぬ事故の原因にもなりますので、着用しないでください。

- ズボンのすそや袖口の広い服
- 衣服の飾り物や紐など、長すぎる装飾がある服

- 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

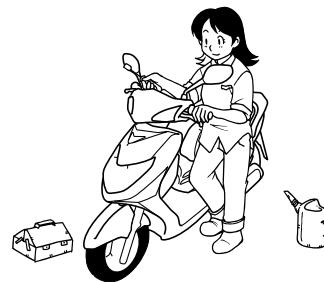
JWA11600

## ！警告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。

運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず行う



事故や故障を防ぐため、法令に準じた日常点検を運転する前にやってください。また、法令に準じた1年、2年ごとに行う定期点検も必ず実施してください。

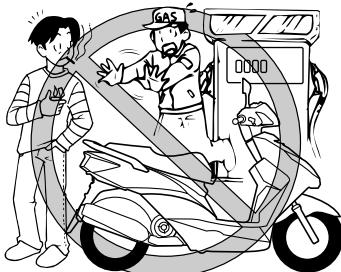
## 車の異状

次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

- 異音がたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面にオイルなどが漏れた跡があるとき。
- 燃料、冷却水のにじみまたは漏れた跡があるとき。

## 給油時は火気厳禁

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

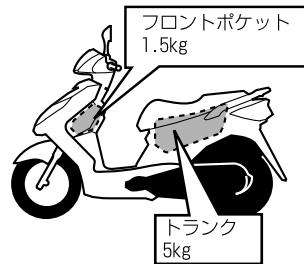


## 風通しの悪い場所でエンジンを始動しない 荷物を積むときは



排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。



- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険ですので、積みすぎないように注意してください。
- ハンドルの近くには、荷物など、物を置かないでください。ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作を妨げる場合があります。
- ヘッドライトの前を荷物などでさえぎらないようにしてください。ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶことがあります。

# 安全運転のために

両手はハンドル、両足はフットレストボード　押して移動するときはエンジンを止める

乗車定員は2名

1



- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストボードにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットレストボードにのせさせます。



車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。

やむをえずエンジンをかけたまま移動するときは、スロットルグリップを不用意に回さないようにするため、必ず右手でスタンディングハンドルを持って行ってください。

スロットルグリップを持って行うと思わぬ事故の原因となります。



ただし、免許取得後1年未満の運転者は法令により2人乗りはできません。

タンデムシート以外の場所には人を乗せないでください。

**急激なハンドル操作や片手運転はしない**



急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

## 誤った方法でエンジンを停止しない

誤った取り扱いをすると、マフラーの中の触媒装置が異常に高温になり、損傷するおそれがあります。次のような操作はしないでください。

- 走行中にメインスイッチでエンジンを停止する。
- 空ぶかし直後にエンジンを停止する。

## 自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない

エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

JCA15220

## 注意

部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

## 自賠責保険に必ず加入

自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。

また、保険の期限切れにも注意してください。

## 歩行者と他の車のために 他の人への思いやり



JAUT3070

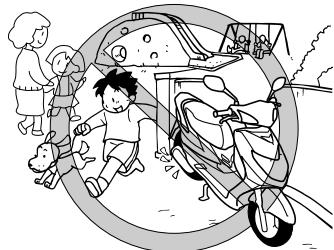
## 駐車



- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーシャッターを閉めて、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- サイドスタンドを使用して駐車するときは、車が停止してからハンドルを左に切ってください。

# 安全運転のために

1



JWA12240

## 夜間はヘッドライトを下向きに

この車両は自動夜間点灯仕様です。エンジンがかかる間は点灯しつづけます。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

JAU27670

## 環境・住民の方との調和のために 住民の方への思いやり



### ！警告

- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触るとヤケドをすることがありますので、注意してください。  
また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。
- マフラーの中の触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、オイル、木材など、燃えやすいものがある場所には駐車しないでください。

自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。

特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

## 違法改造はしない

- 違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。  
また、改造すると車の保証が受けられません。

- この車は、排出ガス規制適合車です。マフラーには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。マフラーを交換する場合は、お買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。  
なお、ヤマハ純正部品のマフラーには "YAMAHA" マークが刻印されています。

## 環境への配慮

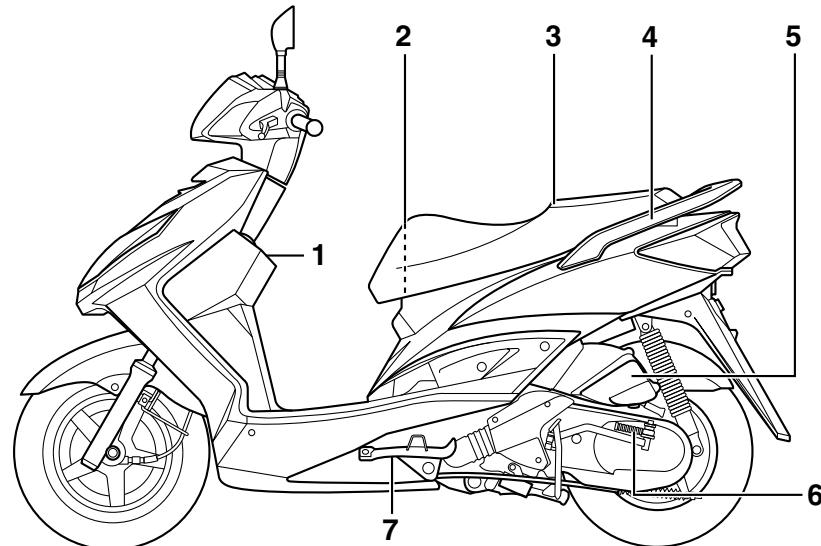
廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

# 各部の名称

左側面

JAU10410

2

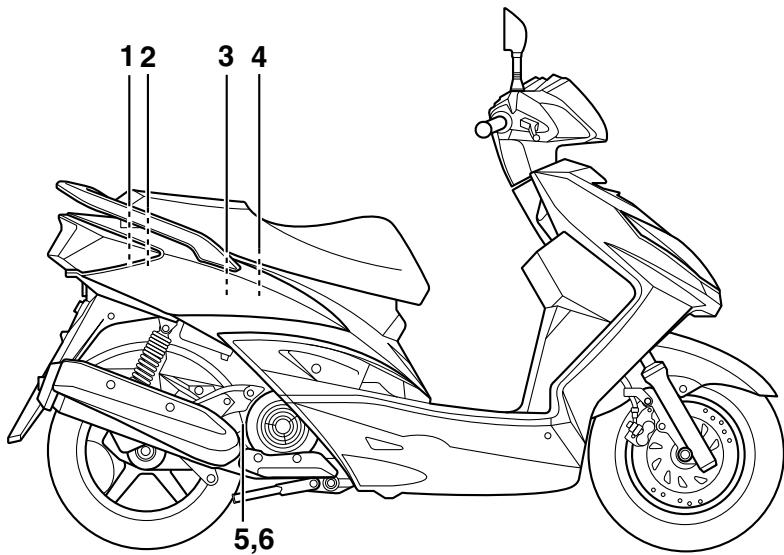


1. フロントポケット (P3-11)
2. ヘルメットホルダー (P3-11)
3. シート (P3-10)
4. スタンディングハンドル (P3-12)
5. エアクリーナー (P6-5)
6. キックスターター (P5-2)

7. サイドスタンド (P3-13)

## 右側面

2



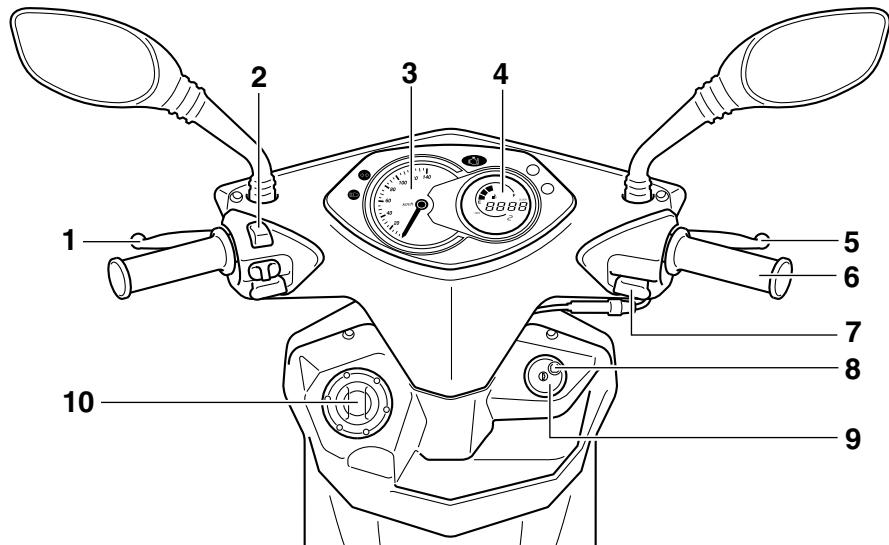
1. バッテリー (P6-12)
2. メインヒューズ (P6-13)
3. トランク (P3-12)
4. 系統別ヒューズボックス (P6-14)
5. オイルレベルゲージ (P6-3)
6. オイル注入口 (P6-3)

# 各部の名称

## 運転装置と計器類

JAU10430

2

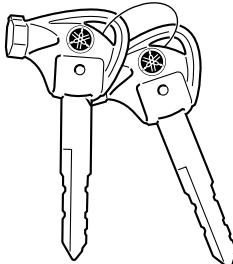


1. リヤブレーキレバー (P3-8)
2. ハンドルスイッチ (左) (P3-6)
3. スピードメーター (P3-4)
4. マルチファンクションディスプレイ (P3-4)
5. フロントブレーキレバー (P3-7)
6. スロットルグリップ (P5-3)
7. ハンドルスイッチ (右) (P3-6)
8. キーファンタム (P3-2)
9. メインスイッチ (P3-1)
10. フューエルタンクキャップ (P3-8)

# 各部の取り扱いと操作

## キーの取り扱い

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、充分に注意してください。
- キーは2本付属しています。1本は予備として大切に保管してください。
- キーを紛失または破損したときは、メインスイッチ本体とキーのセットでの交換になります。詳しくは販売店にご相談ください。



JCA12501

## 注意

金属製のキーカバーは使用しないでください。また、リングなどに複数のキーをつないで使用しないでください。走行中にキーカバーなどの部品に当たり、傷付きの原因となる場合があります。キー

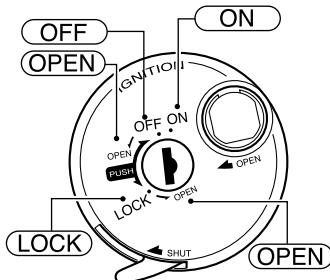
JAU31101

ホルダーは、布製または皮製のものをお勧めします。

JAUT2400

## メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入／切」、ハンドルロック、シートのロック解除を行います。



JAUT2410

## ON

- エンジンの始動ができます。
- キーは抜けません。
- テールランプ、メーター灯が点灯します。
- エンジンを始動させると、ヘッドライトが点灯します。

## 要点

メインスイッチをONにしたとき、2～3秒間フューエルポンプ作動音がすることがあります。

# 各部の取り扱いと操作

JAU46010

## OFF

全ての電気回路がオフになり、エンジンが停止します。キーを抜くことができます。

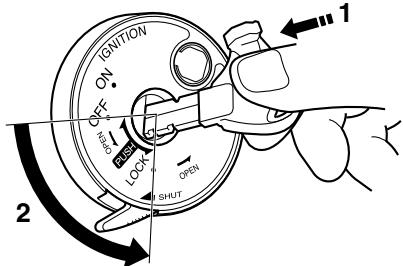
3

JAU10683

## LOCK

ハンドルがロックされ、全ての電気回路がオフになります。キーを抜くことができます。

### ハンドルロックのしかた



1. ハンドルを左へいっぱいに切れます。
2. OFF の位置でキーを押し込み、そのまま LOCK まで回します。

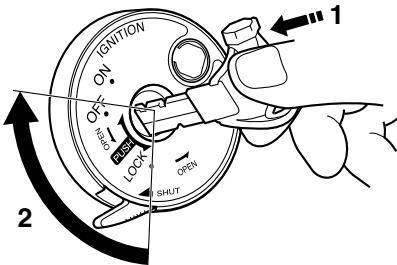
### 要点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右

に動かしながらキーを回します。

3. キーを抜きます。

### ハンドルロックの解除のしかた



LOCK の位置でキーを押しこみ、そのまま OFF まで回します。

JWA11450



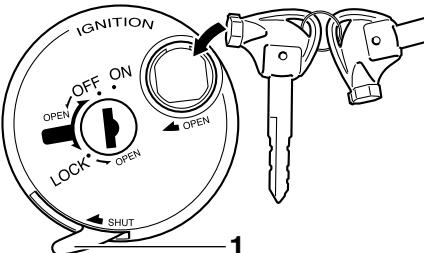
### 警告

走行中にメインスイッチを OFF や LOCK の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停止中に操作してください。

JAUT3010

## キーシャッター

メインスイッチのキー孔をガードします。キーシャッターの開閉は、キーとキーシャッターレバーを使って行います。



1. キーシャッターレバー

### キーシャッターを閉じるとき

キーシャッターレバーを押すと、キーシャッターが閉まります。

### キーシャッターを開けるとき

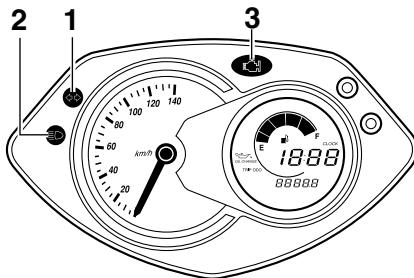
キーのマスクット部にある突起部分をメインスイッチにあるくぼみに差し込み、右に回すとキーシャッターが開きます。

## 要点

キーのマスコット部にある突起部分には溝があります。突起部分をくぼみに差し込むときは、溝に合わせて差し込んでください。

JAU11004

## 警告灯と表示灯



1. 方向指示器表示灯
2. ヘッドライト上向き表示灯
3. エンジン警告灯

JAU11020

### 方向指示器表示灯 " ⇄ "

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU11080

### ヘッドライト上向き表示灯 " ⚡ "

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

JAU11484

### エンジン警告灯 " 🔋 "

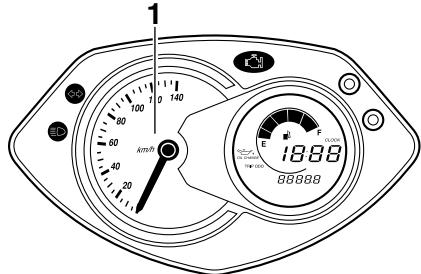
エンジンの電気回路に異常が発生したとき、警告灯が点灯するか、点滅します。ヤマハ販売店で点検を受けてください。

この警告灯は、キーを ON にしたときに約 2 秒間点灯し、その後消灯します。

キーを ON にしたときに警告灯が点灯しない場合や、点灯したままになっている場合は、ヤマハ販売店で電気回路の点検を受けてください。

# 各部の取り扱いと操作

## スピードメーター



3

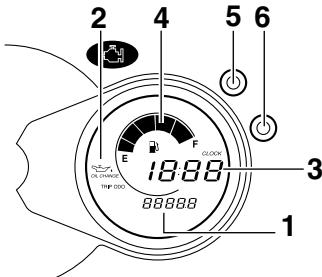
### 1. スピードメーター

車の速度を示します。

電気回路のチェックのため、メインスイッチを ON にすると、指針が一旦最大値を示し、“0”に戻ります。

JAU11601

## マルチファンクションディスプレイ



1. オドメーター
2. エンジンオイル交換インジケーター
3. 時計
4. 燃料計
5. RESET ボタン
6. SELECT ボタン

JAUT3080

## !**警告**

表示の切り替え、時刻調整などの操作は、必ず停車中に行ってください。

マルチファンクションディスプレイには以下の機能があります。

- オドメーター “ODO”（走行した総距離を表示します。）
- トリップメーター “TRIP”（リセットしてからの走行距離を積算します。）

- オイル交換トリップメーター “TRIP + エンジンオイル交換表示点灯”（最後にエンジンオイルを交換してから走行した距離を積算します。）

- エンジンオイル交換表示（エンジンオイルの交換時期になると点滅します。また、オイル交換トリップメーターを表示しているときに点灯します。）

- 時計
- 燃料計

## 要 点

- メインスイッチを ON にすると、全てのセグメントを表示し、その後通常表示になります。このときマルチファンクションディスプレイは回路の点検を行っています。

- “SELECT” ボタンや “RESET” ボタンを使用するときは、メインスイッチを ON にしてください。

## オドメーター、トリップメーターおよび オイル交換トリップメーターモード

“SELECT”ボタンを押す毎に、オドメーターとトリップメーターの表示が以下の順に切り替わります。

ODO → TRIP → OIL CHANGE TRIP →  
ODO

## オドメーター

### 要 点

オドメーターが “----” を表示した場合は、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

## トリップメーター

トリップメーターをリセットするには、“SELECT”ボタンで“TRIP”を表示させ、“RESET”ボタンを1秒以上押します。

### 要 点

トリップメーターが “----” を表示した場合は、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

## オイル交換トリップメーター

オイル交換トリップメーターをリセットするには、“SELECT”ボタンで“オイル交換トリップメーター”を表示させ、“RESET”

ボタンを3秒以上押します。このとき、エンジンオイル交換表示が点滅していれば、同時にリセットされて点灯に変わります。

### 要 点

- リセット後 “SELECT” ボタンを押すと、オイル交換トリップメーターからオドメーターに切り替わります。
- オイル交換トリップメーターが “----” を表示した場合は、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

## エンジンオイル交換表示

エンジンオイルの交換時期を知らせます。初回は走行距離が1000kmになると、以降はリセット後3000km走行すると表示が点滅します。エンジンオイル交換表示が点滅したら、早めにヤマハ販売店でエンジンオイルを交換してください。

エンジンオイル交換後は、必ずリセットしてください。リセットのしかたは、オイル交換トリップメーターのリセットのしかたを参照してください。

エンジンオイル交換表示が表示される前にオイル交換したときも、リセットしてください。リセットせずにそのまま走行すると、交換時期がずれてしまいます。

### 要 点

エンジンオイル交換表示を初回1000kmのオイル交換前にリセットした場合、以降のエンジンオイル交換表示の間隔は3000km毎になります。

## 時計

### 時刻調整のしかた

1. “SELECT”ボタンと“RESET”ボタンを同時に2秒以上押します。
2. <時>の表示が点滅したら、“SELECT”ボタンを押して<時>を合わせます。
3. “RESET”ボタンを押すと、<分>の10の位の表示が点滅します。
4. “SELECT”ボタンを押して<分>の10の位を合わせます。
5. “RESET”ボタンを押すと、<分>の1の位の表示が点滅します。
6. “SELECT”ボタンを押して<分>の1の位を合わせます。
7. “RESET”ボタンを押すと時刻調整が完了し、時計表示に戻ります。

# 各部の取り扱いと操作

## 要 点

時刻調整中、30秒以上“SELECT”ボタンまたは“RESET”ボタンを操作しないと、調整前の時刻のまま時計表示に戻ります。

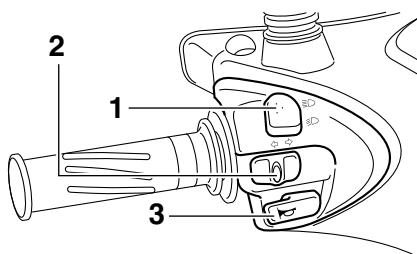
3

## 燃料計

メインスイッチをONにすると、フューエルタンクのガソリンの残量を表示します。ガソリンの残量が減ると、燃料計のセグメントの数が減ります。ガソリンの残量が少なくなるとセグメントが全て表示されなくなり、燃料警告表示が点滅して知らせます。燃料警告表示が点滅状態になったら、残量は約0.6Lです。早めに補給してください。

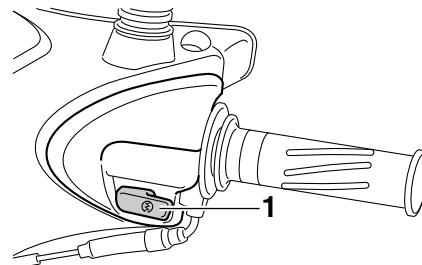
## ハンドルスイッチ

<左>



1. ヘッドライト上下切り替えスイッチ "↑↓"
2. 方向指示器スイッチ "↔"
3. ホーンスイッチ "▶"

<右>



1. スタータースイッチ "④"

JAU12348

JAU12400

## ヘッドライト上下切り替えスイッチ (↑↓)

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。

↑ (上向き) : 遠くを照らします。

↓ (下向き) : 近くを照らします。

## 要 点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き↓にしてください。

JAU35971

## 方向指示器スイッチ (↔)

進路変更の合図に使用します。

操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。

消灯するときは、スイッチを押します。

→ : 右側の方向指示灯が点滅します。

← : 左側の方向指示灯が点滅します。

## 要 点

方向指示器を使用すると“カチカチ”音がします。

JWA11640

## 警 告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他のかたの迷惑になります。

JCA11881

## 注 意

- スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。
- エンジンを始動させる前に、5-1 ページの始動手順を参照してください。

## 注 意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。正規のワット数以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JCA11981

## ホーンスイッチ (▶)

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

JAU12500

## 要 点

必要なときにのみ使用してください。

JAUT2801

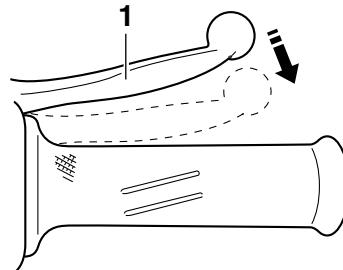
## スタータースイッチ "③"

エンジンを始動するスイッチです。

始動するときはメインスイッチを ON にし、リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押します。

JAU12900

## フロントブレーキレバー



3

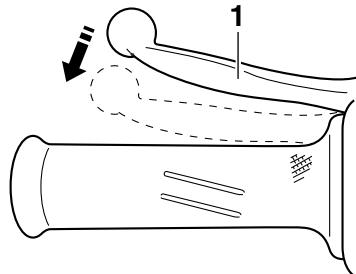
### 1. フロントブレーキレバー

フロントブレーキレバーは、ハンドルの右グリップ部に取り付けられています。フロントブレーキをかけるには、このレバーをハンドルのグリップに向けて握ります。

# 各部の取り扱いと操作

3

## リヤブレーキレバー

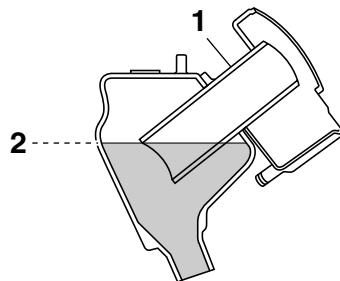


1. リヤブレーキレバー

リヤブレーキレバーは、ハンドルの左グリップ部に取り付けられています。リヤブレーキをかけるには、このレバーをハンドルのグリップに向けて握ります。

JAU12950

## フューエルタンクキャップ



1. フィラーチューブ  
2. 給油限度

JAU34942

あります。

- 給油は、必ず屋外で行ってください。
- セルフサービスのガソリンスタンドで給油するときは、ガソリンの吹きこぼれないよう、慎重に給油してください。
- 給油限度（フィラーチューブ下端まで）を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。
- 給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。

## 警 告

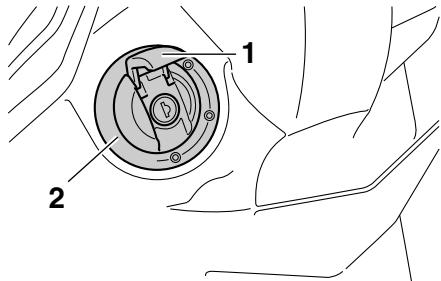
給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- 給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。
- フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。
- 給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合が

JWA12171

## フューエルタンクキャップの取り外しかた

キーをカバーを開け、キーをロックに差し込み、時計方向に1/4回してロックを解除し、フューエルタンクキャップを取り外します。



1. キーカバー
2. フューエルタンクキャップ

## フューエルタンクキャップの取り付けかた

1. キーをロックに差し込んだ状態で、フューエルタンクキャップを給油口に押し込みます。
2. キーを反時計方向に回して抜き取り、キーカバーを閉めます。

## 要 点

キーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを取り付けることはできません。また、フューエルタンクキャップを正しく取り付けてないと、キーを抜き取ることはできません。

JAU31460

## 燃料

JAU28311

## 指定燃料

**指定燃料：**

無鉛レギュラーガソリン

**タンク容量：**

約 7.1 L

3

JCA12511

## 注 意

- 必ず指定燃料を使用してください。高濃度アルコール含有燃料や軽油、粗悪ガソリンなど、指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。
- こぼれたガソリンは、布切れなどできれいにふき取ってください。
- タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。

# 各部の取り扱いと操作

JAU36050

## キックスターター

スタータースイッチを押してもエンジンが始動しない場合、キックスターターで始動してください。キックスターターでエンジンを始動するには、キックスターターレバーを出し、力強く下にキックします。

3

## 要 点

キックスターターレバーは自動的には戻りません。エンジン始動後、必ず手か足で戻してください。

JAUT1503

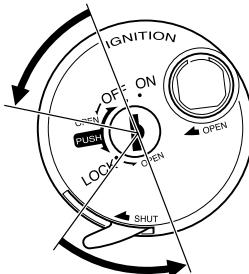
## シートの開閉（シートロックオーブナーの使いかた）

### シートの開けかた

1. メインスタンドを立てます。
2. メインスイッチを OFF または LOCK から SEAT OPEN にします。

## 要 点

- シートを降ろしたら確実にロックされているか確認してください。
- キーをシートの下に置いたまま閉じると、ロックされてキーが取り出せなくなります。



## 要 点

キーは押しこまないで回してください。

3. シートを持ち上げて開きます。

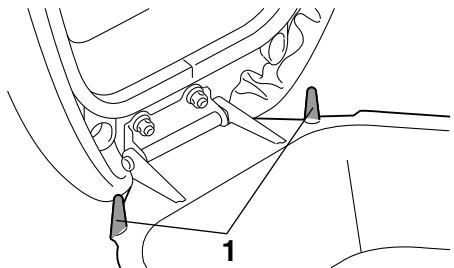
### シートの閉めかた

シートを降ろし、シート後部を押さえてロックします。

# 各部の取り扱いと操作

## ヘルメットホルダー

シートを開けるとヘルメットホルダーがあります。ヘルメットのあごひもの金具部分を掛け、シートをロックします。



1. ヘルメットホルダー

JAU14301

### !**警告**

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えること、またヘルメットにも損傷を与えることによって保護機能を低下させます。

JWA11650

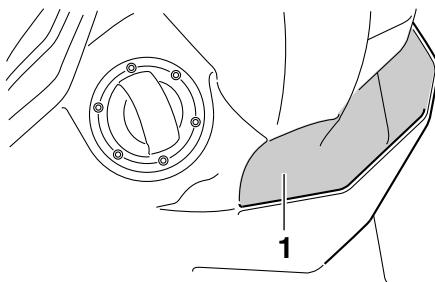
## 書類入れ

メンテナンスノート、自賠責保険証はビニール袋に入れて、トランク内に保管してください。

JAU28520

## フロントポケット

小物や、500mlのペットボトルなどが収納できます。



1. フロントポケット

JAU37130

3

### !**警告**

- フロントポケットに積める荷物は 1.5kg までです。
- ハンドル操作を妨げるような積みかたや、走行中に荷物が落下するおそれのあるような積みかたはしないでください。

## 要 点

ペットボトルの形状によっては収納できないものもあります。

JWA14170

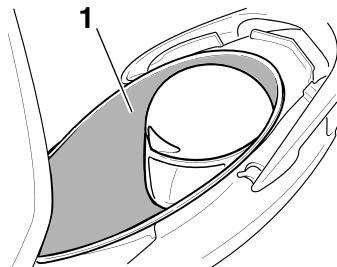
# 各部の取り扱いと操作

## トランク

シートの下にトランクがあります。 (3-10  
ページ参照)

JAU28570

ヘルメットは、図のようにヘルメットの前部  
を前向きにして収納します。



1. トランク

## 注意

トランクを使用する時は以下の点に注意して  
ください。

- トランク内は直射日光などで温度が高くな  
ります。熱の影響を受けやすい物は入れな  
いでください。
- 濡れたものは、ビニール袋に入れてから収  
納してください。濡れたまま入れると、ト  
ランク内にカビなどが発生することがあり  
ます。
- 洗車をすると中に水が入ることがありま  
す。大切な物はビニール袋などに入れて収  
納してください。
- 貴重品や壊れやすいものは入れないでく  
ださい。

JCA11900

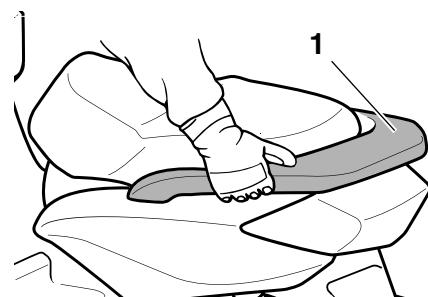
## 要点

- ヘルメットのサイズや形状によっては、収  
納できないものもあります。
- シートを開けたまま、車から離れないでく  
ださい。

JAU29910

## スタンディングハンドル

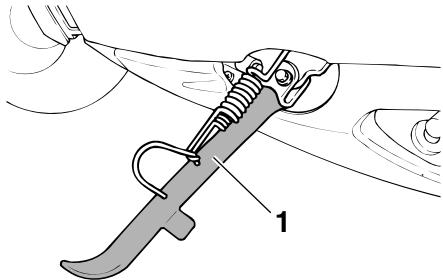
メインスタンドを立てるときに右手で持ちま  
す。



1. スタンディングハンドル

## サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車を直立にした状態で、足でサイドスタンドを上げ下げします。



1. サイドスタンド

JAU48980

## 要点

サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、取付部に注油してください。

3

## ⚠ 警告

- サイドスタンドを出したまま走行すると、スタンドが地面に接触して運転操作に支障をきたすことがあり、たいへん危険です。
- 走行中にサイドスタンドを操作するとエンジン回転数が急激に下がり、思わぬ事故の原因となります。走行中はサイドスタンドを操作しないでください。

JWA15420

# 日常点検

## 日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で日常点検を行うことが義務づけられています。

運転する前に必ず実施してください。

JAU15596

JAU30101

(注)

※印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

JWA11732



JWA12031

- 日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

## 要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

点検箇所	点検内容
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"><li>● ブレーキレバーの握りしきが適切で、ブレーキのききが充分であること。</li><li>● ブレーキ液の量が適当であること。</li></ul>
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"><li>● タイヤの空気圧が適当であること。</li><li>● 亀裂、損傷がないこと。</li><li>● 異常な摩耗がないこと。</li><li>● 溝の深さが充分であること。 (※)</li></ul>
エンジン	<ul style="list-style-type: none"><li>● エンジンオイルの量が適当であること。 (※)</li><li>● かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 (※)</li><li>● 低速、加速の状態が適当であること。 (※)</li></ul>
灯火装置および方向指示灯	<ul style="list-style-type: none"><li>● 点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。</li></ul>
運行において異常が認められた箇所	<ul style="list-style-type: none"><li>● 当該箇所に異常がないこと。</li></ul>



警 告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。点検整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
- 走行して点検するときは、交通状況に注意してください。

- 
- 異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。
-

# 運転操作

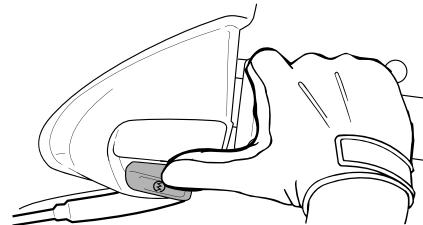
5

## 要点

この車には、メインスイッチが "ON" のときに車体が転倒した状態になると、エンジンを停止させる機構が装備されています。この機構が働くと、車体を起こしてもエンジン停止の制御が継続されるため、スターターモーターは回転しても、エンジンを始動することができません。そのまま始動操作を続けると、バッテリー上がりの原因になることがありますので、このような状態になった場合は**メインスイッチを一旦 "OFF" にして、再度 "ON" にするリセット操作をしてください。**

JAU45310

JAUT3930



## エンジン始動

### エンジンをかける前に

- エンジンを始動するときは、風通しのよい屋外で行います。
- ガソリン、オイル量が充分あることを確認します。
- メインスタンドを立て、必ず車の左側から操作します。

## 要点

サイドスタンドをおろした状態では、エンジンは始動できません。また、エンジン始動後、サイドスタンドを出すとエンジンは停止します。

## エンジンのかけかた

1. メインスイッチを ON にします。
2. リヤブレーキレバーをしっかりと握ります。
3. スロットルグリップを回さずに、スタータースイッチを押します。

エンジンが始動したら、スタータースイッチから指をはなしてください。

JCA16660

## 注意

- エンジンを長持ちさせるため、エンジンが冷えている間の急加速や、無用な空ぶかしは避けてください。
- 長時間のアイドリングはガソリンのムダ使

いになるだけでなく、環境への悪影響にもなりますので、やめてください。

- 通常のアイドリング回転数を必要以上に高くした状態（スロットルグリップを開けて固定した状態など）で、長時間放置しないでください。温度上昇により、エンジンまたは車両が損傷する場合があります。

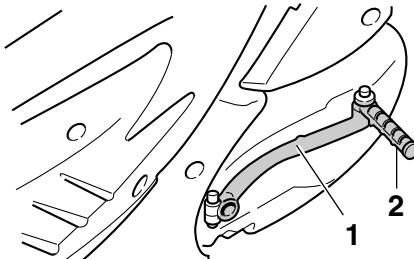
### キックスターターを使用するとき

スタータースイッチでエンジンが始動しないときは、キックスターターを使用してください。

### 要点

- キックスターターを使用するときは、必ずメインスタンドを立てて行ってください。
- バッテリー電圧が8Vに満たない、またはバッテリーが取り付けられていない場合は、車両のエンジンは始動しません。（キックスターターでも始動しません）

1. メインスイッチをONにします。
2. レバーを出します。



1. キックスターター
2. レバー
3. 左手でリヤブレーキレバーを握り、右手をシートに置きます。
4. 右足でキックスターターを強くキックします。
5. レバーを元に戻します。

### 要点

キックスターターのレバーは自動的には戻りません。エンジン始動後、必ず手か足で戻してください。

JAU45091

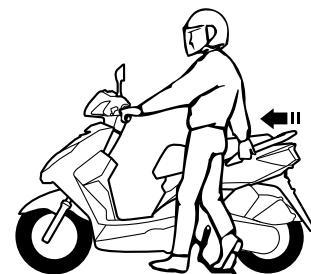
### 発進

JWA12260

#### !**警告**

飛び出し防止のため、走り出すまではエンジンの回転をむやみに上げないでください。

1. 左手でリヤブレーキレバーを握り、右手でスタンディングハンドルを持ちながら、車を前に押し出してメインスタンドを戻します。



5

JWA12270

#### !**警告**

メインスタンドを立てたり戻したりするときは、スロットルグリップを握らないでください。スロットルグリップが回り、車が走り出することができます。

# 運転操作

2. シートにまたがり、バックミラーを調整します。
3. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。
4. 周りの安全を確認し、スロットルグリップをゆっくりと回して発進します。

JWA12280

## ⚠ 警告

スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。

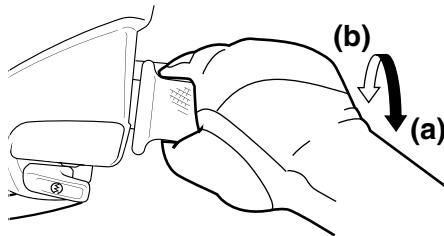
5. 方向指示器を消灯します。

5

## 加速と減速

速度の調整は、スロットルを開けたり、閉めたりして行います。速度を上げるには、スロットルグリップを (a) 方向に回します。速度を落とすには、スロットルグリップを (b) 方向に回します。

JAU16780

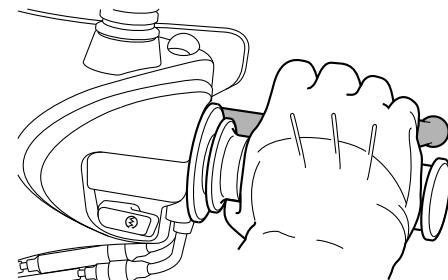


## 注意

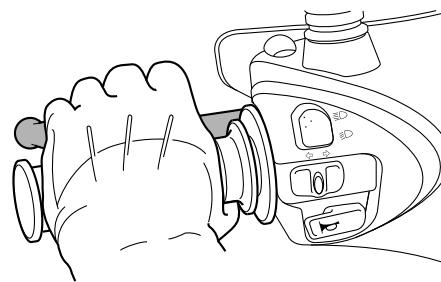
上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、クラッチなどが発熱して故障の原因となります。

## ブレーキ

1. スロットルを完全に閉じます。
  2. フロントブレーキとリヤブレーキを同時に、徐々にしぶりこむように握ります。
- フロントブレーキ



リヤブレーキ



JWA11572

## ⚠ 警告

●急なブレーキは避けてください（特にどち

らか一方に傾いている時）。横すべりや転倒の原因となります。

- 踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。
- 濡れた路面では、ブレーキが効きにくいくことを留意してください。
- 下り坂でのブレーキ操作は非常に困難です。下り坂に差しかかる前までに充分減速してください。
- 連続したブレーキ操作は避けてください。ブレーキ部の温度が上昇し、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

## ならし運転

JAU31470

### ならし運転のしかた

JAU27740

車を長持ちさせるために、ならし運転を行つてください。

乗りはじめてから約1か月間（または1000km走行まで）は、不要な空ぶかしや急加速、急減速はしないでください。

# 点検整備

## 点検整備の実施

### 日常点検

4-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、運転する前に実施してください。点検の方法については、本書の以降のページや、別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降のページを参照してください。

### 定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行なうことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、1年点検と2年点検の2種類があります。定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

JAU29835

JWA12054



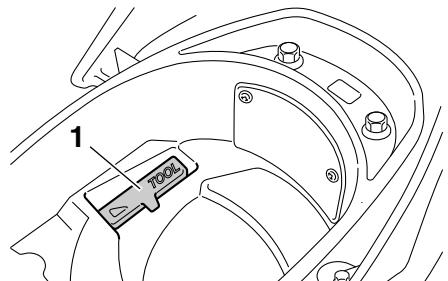
- 点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。

## 要 点

- 点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）
- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

## サービスツール

サービスツールはシート下のトランク内にあります。(3-10 ページ参照)

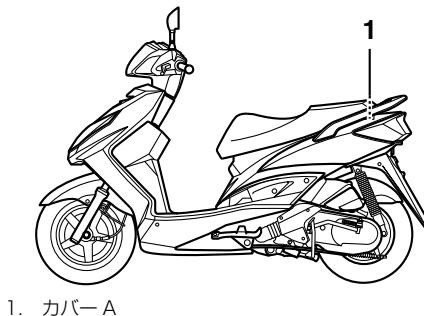


1. サービスツール

JAU17521

## カバーの取り外し、取り付け

図のカバーは、点検整備などで取り外す必要があります。カバーを取り外すときや、取り付けるときは、この項目を参照してください。



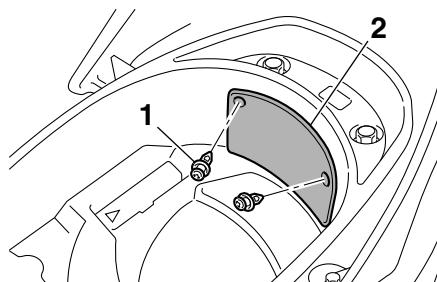
1. カバー A

JAU18751

## カバー A

### カバーの取り外しかた

- シートを開けます。(3-10 ページ参照)
- スクリューを外し、カバーを取り外します。



1. スクリュー  
2. カバー A

6

### カバーの取り付けかた

- カバーを元の位置に取り付け、スクリューを締め付けます。
- シートを閉めます。

# 点検整備

## エンジンオイル

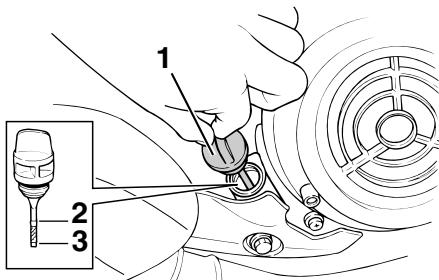
### エンジンオイル量の点検

- 平坦な場所でエンジンを2~3分間アイドリング運転します。

### 要 点

走行直後でエンジンが充分に暖まっていれば、アイドリング運転は不要です。

- エンジンを止めてメインスタンドを立て（車を垂直にする）、2~3分後、オイルレベルゲージでオイル量を点検します。



1. オイルレベルゲージ
2. フルレベル
3. ロアレベル

JAUT3130

### 要 点

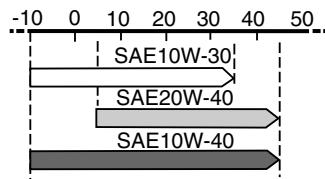
オイルレベルゲージはねじ込まないで点検します。

3. オイル量が規定量以下のときは、オイル注入口から補給します。

### <推奨エンジンオイル>

	SAE	JASO
ヤマハ純正オイル ヤマルーブスポーツ	10W-40	MA
ヤマハ純正オイル ヤマルーブベースック	20W-40 または 10W-30	MA

エンジンオイルの粘度は、外気温によって下表を参考にして使いわけてください。



JAU30612

### エンジンオイルの交換時期

#### 初回：

1か月点検時または1,000km時

#### 2回目以降：

3,000km走行毎または1年毎

#### 定期交換時オイル量：

0.9L

定期交換時期の前でも、エンジンオイルの汚れが著しいときやエンジンオイルが薄茶色に濁っているときは、早めにエンジンオイルを交換してください。汚れや濁りの程度については、ヤマハ販売店にご相談ください。

JWA11860

### !**警 告**

- 走行後など、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。  
ヤケドに注意してください。
- 油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。

## 注意

- 化学添加剤は一切加えないでください。
- 補給時に、オイル注入口からゴミなどが入らないように注意してください。
- オイルをこぼしたときは、布などでよくふきとってください。

JCA12260

## ファイナルギヤオイルの交換時期

JAU30662

### 交換時期

初回：

1か月点検時または 1000km 走行時

2回目以降：

10000km 走行毎

定期交換時オイル量：

0.11L

推奨オイル：

ヤマハギヤオイル

JAU30690

## エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。

エンジンから異音がしないかを点検します。

# 点検整備

## 低速、加速の状態の点検

アイドリングがスムーズに続くかを点検します。

スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU44190

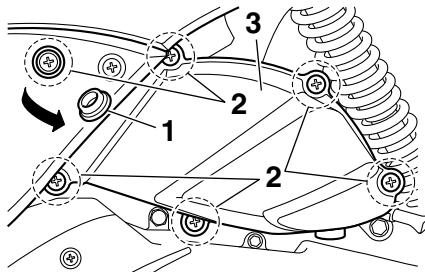
## エアクリーナーエレメント、Vベルトフィルターエレメント

エアクリーナーエレメントは20000km走行毎に交換してください。Vベルトフィルターエレメントは10000km走行毎に点検、清掃してください。ただし、ほこりの多い場所や湿気の多い場所を走行する機会が多い場合は、上記よりも短い距離で交換または点検、清掃を行ってください。

JAUT3090

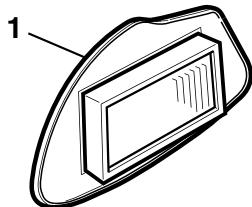
### エアクリーナーエレメントの交換

1. メインスタンドを立てます。
2. カバーを取り外します。
3. スクリューを外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。



1. カバー
2. スクリュー
3. エアクリーナーケースカバー

4. エアクリーナーエレメントを取り外します。



1. エアクリーナーエレメント
5. 新しいエアクリーナーエレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。
6. エアクリーナーケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。
7. カバーを取り付けます。

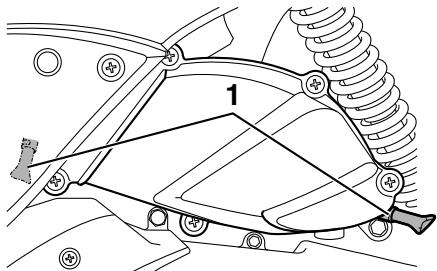
JCA11950

### 注意

- エアクリーナーエレメントがエアクリーナーケースに正しく装着されていることを確認してください。
- エアクリーナーエレメントを取り付けないままエンジンを始動しないでください。エンジンの故障の原因となります。

## プローバイガス還元装置のブリーザードレンホースの清掃

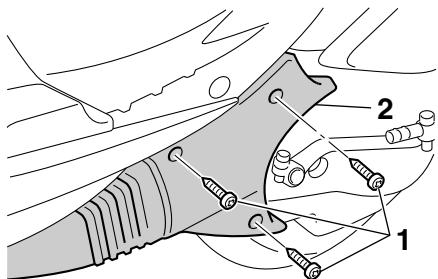
1. ブリーザードレンホースを点検し、汚れや水がたまっていないか確認します。
2. 汚れや水があった場合は、ブリーザードレンホースを取り外して清掃し、元に戻します。



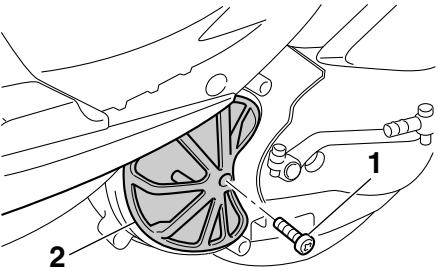
1. プローバイガス還元装置のブリーザードレンホース

## Vベルトフィルターエレメントの清掃

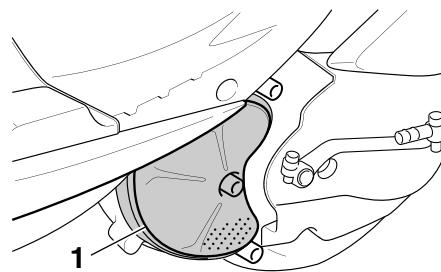
1. スクリューを外し、Vベルトフィルターケースカバーを取り外します。



1. スクリュー  
2. Vベルトフィルターケースカバー
2. スクリューを外し、Vベルトフィルターエレメントホルダーを取り外します。



1. スクリュー  
2. Vベルトフィルターエレメントホルダー
3. Vベルトフィルターエレメントを取り外します。



1. Vベルトフィルターエレメント
4. Vベルトフィルターエレメントをきれいな灯油で洗浄し、軽くしぼります。

JWA12250

6

## ！警告

ガソリンや引火性の高い洗浄剤は引火のおそれがありますので、使用しないでください。

5. 布切れなどでVベルトフィルターエレメントを包み、植毛を傷めないようにして乾かします。
6. Vベルトフィルターエレメントの損傷を点検します。損傷している場合は交換します。
7. ME-R フィルターオイルをVベルトフィルターエレメントの表面全体に塗布してから、布切れなどで包み、しぼります。

# 点検整備

8. Vベルトフィルターエレメント、Vベルトフィルターエレメントホルダーを取り付け、スクリューを締め付けます。

JCA13030

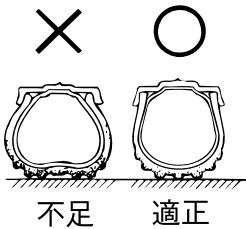
## 注意

Vベルトフィルターエレメントは確実に装着してください。

9. Vベルトフィルターケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

## タイヤ 空気圧

JAU31011



タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。この車はチューブレスタイヤを装着しております。

### タイヤ空気圧

1名乗車

前輪

175kPa (1.75kgf/cm<sup>2</sup>)

後輪

200kPa (2.00kgf/cm<sup>2</sup>)

2名乗車

前輪

200kPa (2.00kgf/cm<sup>2</sup>)

後輪

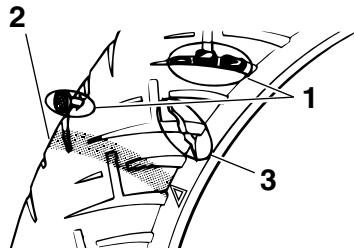
225kPa (2.25kgf/cm<sup>2</sup>)

## 要点

- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも1か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。
- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

## タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないかを点検します。この車はチューブレスタイヤを装着しています。タイヤの接地面や側面に釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検し、異常があったときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



1. 異物（釘、石など）
2. ウエアインジケーター（摩耗限度表示）
3. 亀裂、損傷

## 要 点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きくくぼみや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

JAU28641

## タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU28700

## タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。

JAU28742

## 要 点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が0.8 mmになるとあらわれます。
- 安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に原付のタイヤは前輪、後輪とも溝の深さが1.6 mm以下になりましたら交換をおすすめします。

JWA11912

## ！警告

- タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。指定タイヤ以外のタイヤを使用すると、操縦安定性に影響をおよぼすことがありますので使用しないでください。

● 過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。

● タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

## タイヤサイズ

前輪

110/70-12 47J

後輪

120/70-12 51L

## 指定タイヤ

前輪

CHENG SHIN/C-922N

後輪

CHENG SHIN/C-6007

# 点検整備

## ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検

### ブレーキの遊びの点検

<フロントブレーキ>

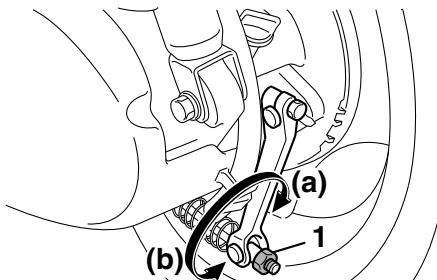
フロントブレーキレバーの遊びは、無調整式です。

<リヤブレーキ>

リヤブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが 10 ~ 20mm の範囲にあるかを点検します。

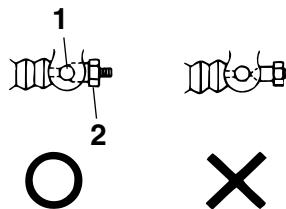
点検の結果、調整が必要な場合は、以下の方  
法で調整します。

1. アジャスターを時計回り (a) に回すと、  
遊びが少くなります。
2. アジャスターを反時計回り (b) に回すと、  
遊びが多くなります。



1. アジャスター

JAUT2840



1. ピン
2. アジャスター

## 要 点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてく  
ださい。

JWA11850

## ! 警 告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点  
灯とタイミング、ブレーキの引きずりがない  
かを確認してください。

JWA12110

## ! 警 告

フロントブレーキレバーの引き具合がやわら  
かく感じられるときは、エアが混入している  
おそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整  
備を受けてください。

## ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、フロントブレーキ、リ  
ヤブレーキを別々に作動させたときのきき具  
合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販  
売店で点検・整備を受けてください。

JWA11760

## ! 警 告

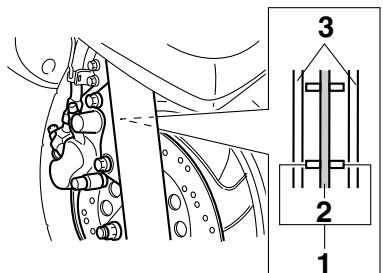
走行して点検するときは、交通状況に注意し、  
低速で走行しながら行ってください。

## ブレーキパッドの点検

<フロントブレーキ>

ブレーキパッドのインジケーター溝の深さで摩耗の状態を点検します。

インジケーター溝がなくなったら、ヤマハ販売店でブレーキパッドを交換してください。



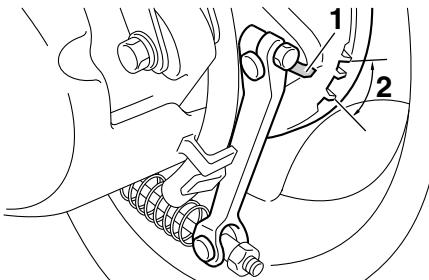
1. インジケーター溝
2. ブレーキディスク
3. ブレーキパッド

JAU29670

## ブレーキシューの摩耗点検

<後輪ブレーキ>

後輪ブレーキレバーをいっぱいに握ったとき、インジケーターが使用範囲から外れるとブレーキシューの使用限度です。ヤマハ販売店で交換・整備を受けてください。

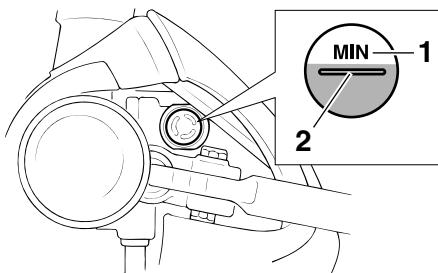


1. インジケーター
2. 使用範囲

JAU29930

## ブレーキ液量の点検

平坦な場所でメインスタンドを立て、ブレーキ液量点検窓の「MIN」マークが水平になるようにして、ブレーキリザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。



1. MIN マーク
2. ロアレベル

JAU30050

6

JWA12150

### ！警告

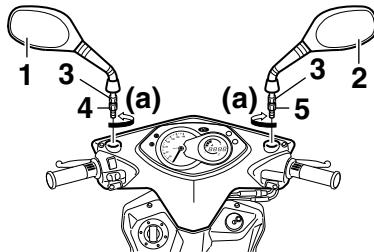
ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。

販売店で点検・整備を受けてください。

# 点検整備

## バックミラー

### バックミラーの脱着のしかた



1. 左バックミラー
2. 右バックミラー
3. 可倒部分締め付けナット
4. 左バックミラー取り付けボルト
5. 右バックミラー取り付けボルト

6

●右バックミラーは左ネジです。

右バックミラーを取り外すときは、右バックミラー取り付けボルトを時計回り（a）方向に回します。

●左バックミラーは右ネジです。

左バックミラーを取り外すときは、左バックミラー取り付けボルトを反時計回り（a）方向に回します。

JAU28602

JCA15690

JAU28620

## 注 意

可倒部分締め付けナットは、ゆるめないでください。

●バックミラーの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

## 車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

## バッテリー

### バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。

バッテリー液の補充、点検は不要です。

バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

JAU28761

- バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。

- 子供の手の届くところに置かないでください。

#### 応急手当

- 万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときはすぐに多量の水で洗い流してください。

- 目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

JWA11810

## 警 告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- 火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。
- 補充電は風通しのよいところで行ってください。
- ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。
- 落下などの強い衝撃を加えないでください。

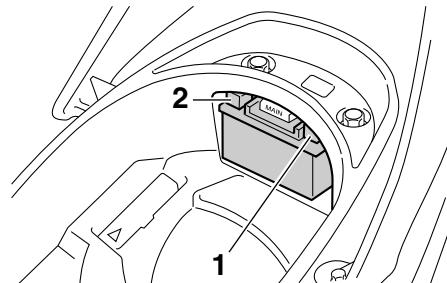
## 注 意

- このバッテリーは密閉式の 12 V です。
- このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。
- 補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。
- 長期間ご使用にならないときは、3か月ごとに補充電してください。
- バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。

## 注 意

### バッテリーの取り外し

1. メインスイッチを OFF にします。
2. シートを開けます。（3-10 ページ参照）
3. スクリューを外し、バッテリーカバーを取り外します。（6-2 ページ参照）



1. リード線
2. プラスリード線
4. - (マイナス) 側リード線を外し、次に + (プラス) 側リード線を外します。
5. バッテリーを取り外します。

### バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JCAT1081

## 注 意

バッテリー交換後または充電後は、エンジンを始動する前にメインスイッチの ON/OFF

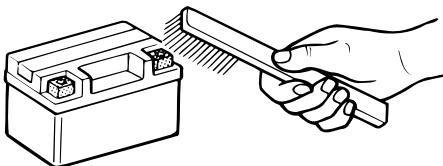
# 点検整備

を3回繰り返してください。このとき、OFFにしている時間は3回とも、3秒以上してください。

JAU29410

## ターミナル部の清掃

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。

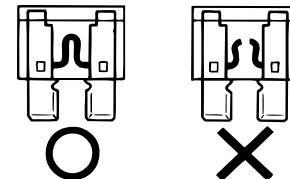


6

## ヒューズ交換

メインヒューズや系統別ヒューズが切れた場合、以下のように交換します。

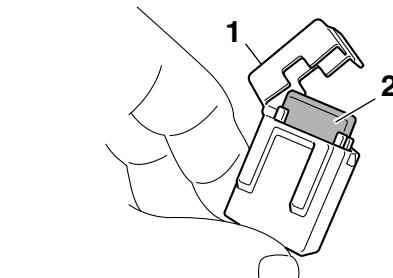
JAUT3100



## メインヒューズの交換

メインヒューズボックスは、バッテリー上方にセットされています。(6-12ページ参照)

1. メインスイッチを OFF にします。
2. ヒューズボックスカバーを押さえながら、引いてカバーを開けます。
3. 切れたヒューズを外し、規定アンペア数の新しいヒューズを取り付けます。



1. メインヒューズボックスカバー
2. メインヒューズ

規定ヒューズ：  
20A

JCAT1130

## 注意

- 交換するヒューズは、指定されている容量のヒューズを使用してください。指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。
- 電気品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。
- 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡

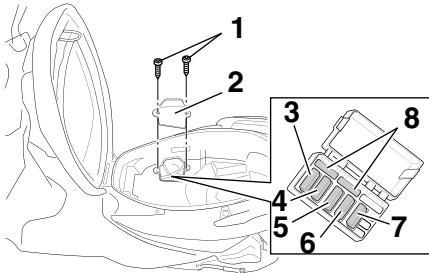
(ショート)の原因になります。

- ヒューズ交換後は、エンジンを始動する前にメインスイッチのON/OFFを3回繰り返してください。このとき、OFFにしている時間は3回とも、3秒以上としてください。

4. メインスイッチをONにし、装置が正しく作動することを点検します。
5. ヒューズを交換してもすぐに切れるときは、ヤマハ販売店で電気系統の点検を受けてください。

#### 系統別ヒューズの交換

1. メインスイッチをOFFにします。
2. シートを開けます。(3-10ページ参照)
3. スクリューを外し、カバーを取り外します。
4. 系統別ヒューズボックスカバーを押さえながら、引いてカバーを開けます。



1. スクリュー
2. カバー
3. バックアップヒューズ
4. イグニッションヒューズ
5. シグナルシステムヒューズ
6. テールランプヒューズ
7. ヘッドライトヒューズ
8. スペアヒューズ

5. 切れたヒューズを外し、規定アンペア数の新しいヒューズを取り付けます。

#### 系統別ヒューズ：

バックアップヒューズ：

7.5 A

イグニッションヒューズ：

7.5 A

シグナルシステムヒューズ：

15 A

テールランプヒューズ：

7.5 A

ヘッドライトヒューズ：

15 A

スペアヒューズ：

15 A

7.5 A

6. メインスイッチをONにし、装置が正しく作動することを点検します。

7. ヒューズを交換してもすぐに切れるときは、ヤマハ販売店で電気系統の点検を受けてください。

6

JCA12861

#### 注意

- 交換するヒューズは、指定されている容量のヒューズを使用してください。指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。

# 点検整備

- 電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。
- 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。

JAU29570

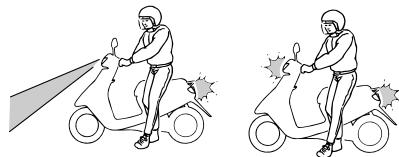
## 灯火装置および方向指示灯の点検 エンジンを始動します。

- ヘッドライト、テールランプが点灯するかを点検します。  
同時にヘッドライト上下切り替えスイッチを操作し、上向き、下向きに切り替わるかも点検します。
- フロントブレーキレバー、リヤブレーキレバーを別々に握り、ブレーキランプが点灯するかを点検します。
- 方向指示器スイッチを操作し、前後左右の方向指示灯が“カチカチ”音を伴って点滅するかを点検します。
- レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

JAU29511

## 運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。



## こんなときは

こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

## エンジンが始動しないときは？

次の項目を確認してください。

1. メインスイッチはONになっていませんか？
2. ガソリンはありますか？  
燃料計にてガソリン量を確認してください。  
燃料計のセグメントの数が1つになったときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
3. リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
4. スロットルグリップを回さずにスタータースイッチを押しましたか？
5. サイドスタンドを使用していませんか？  
以上のことを確認してから、5-1ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけなおしてください。

## スターターモーターが回らないときは？

スタータースイッチを押してもスターターモーターが回らないときは、次の項目を確認

JAUT3110

してください。

1. メインスイッチはONになっていますか？
2. リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
3. サイドスタンドを使用していませんか？  
以上のことを行なっても、スターターモーターが回らないときは……
  - メインスイッチをONにして、ホーンスイッチを押します。ホーンが鳴らないときは、ヒューズ切れが考えられます。6-13ページを参照してヒューズを点検してください。
  - ヒューズに異常がないときは、5-2ページを参照してキックスターターでエンジンを始動し、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

## ランプ類が点灯しないときは？

次の順序で点検してください。

1. メインスイッチがONになっていますか？（ヘッドライト、テールランプの場合）
2. 各スイッチを作動させていますか？
3. ホーンスイッチを押したときに、ホーンは鳴りますか？  
ホーンが鳴るときは、ランプ自体の球切

れが考えられます。8-2ページの規格に合わせて、同じものと交換してください。ホーンが鳴らないときは、ヒューズが切れていることがあります。6-13ページを参照してヒューズを点検してください。

JCA12061

## 注意

電球は、指定されているワット数・規格のものを使用してください。指定以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

## 走行中にエンジンが止まったときは？

ガソリンはありますか？

燃料計でガソリン量を確認してください。燃料計のセグメントの数が1つになったときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。

上記のことを確認してから、5-1ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけなおしてください。

# 車のお手入れ

JAU35122

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。

すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

JAU27964

## 注意

お車によってはマット塗装（ツヤ消し塗装）が施されています。お車の手入れの前にヤマハ販売店で、どのようなアフターケア用品を使用したら良いか、ご相談することをおすすめします。また、マット塗装部分のお手入れをするときは、以下の点に注意してください。

- 洗車などでブラシは使用しないでください。塗装を傷つけることがあります。
- ワックス掛けはしないでください。ふき残しなどにより、外観が変化することがあります。
- コンパウンドは使用しないでください。マット塗装の表面が研磨されて、光沢がでることがあります。
- マット塗装部分の補修が必要な場合は、ヤマハ販売店にご相談ください。

JWA12120

## 洗車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して洗車した後、充分に水洗いします。洗車後は柔らかい布で水分をよくふきとります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックス掛けをしてください。（マット塗装部分を除く）

ワックス：  
ユニコンカークリーム



## ！警告

- 洗車はエンジンが冷えているときにしてください。
- 洗車時、ブレーキドラムに直接水をかけないでください。ドラム内に水が入ると、ブレーキの制動力が低下し、一時的にブレーキがきかなくなることがあります。  
特に寒冷地では充分注意してください。
- 洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。
- ブレーキディスクやパッドに、ワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因となります。

JCA12213

## 注意

- エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。
- マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水

が入らないようにしてください。

- ヘッドライト、メーターパネル、カバーなどのプラスチック部品にガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。また、コンパウンドの入ったワックスは、表面を傷つけますので使用しないでください。

- ウィンドシールド、ヘッドライトレンズ、メーターレンズ、カウル、パネルなどのプラスチック部品やマフラーは、清掃のしかたを誤ると外観を損ねたり損傷したりします。まず、柔らかくて清潔な布やスポンジを使用し、水洗いしてください。もし、汚れが充分に落ちないとときは、少量の中性洗剤を水で薄めて清掃してください。中性洗剤を使用して清掃した後は、大量の水で洗剤を完全に洗い落してください。洗剤の成分が残っていると、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。

- 高圧洗車機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が侵入し、故障の原因となることがあります。

## 要 点

洗車後、雨天走行後、または湿度が高い天候のときなど、ヘッドライトのレンズが曇ることがあります。このような曇りは、ヘッドライトを短時間点灯することで自然に取れます。

## 保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。



## 注 意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- 保管する前にワックス掛けをしてください。サビを防ぐ効果があります。
- バッテリーを取り外し、充電器で満充電にした後、湿気のない涼しい場所に保管してください。また、バッテリーの劣化を抑えるため、3ヶ月ごとに補充電を行ってください。

# 車のお手入れ

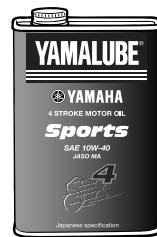
- 長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。  
※補充電については、ヤマハ販売店にご相談ください。

## アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正品をご使用ください。

### ヤマルーブスポーツ

オイル消費を抑え、高速走行、ロングツーリングなどでも優れた性能を発揮するマルチタイプのオイルです。



JAU28081

### ヤマルーブベーシック

一般走行、業務用に最適なコストパフォーマンスオイルです。



JAUT3140

JAU28200

### ブレーキフルード BF-4

高沸点、防錆性、安定性、ゴム劣化防止性に優れたブレーキフルードです。



## ギヤオイル

JAU28270  
極圧性、酸化安定性に優れ、油膜強度が高い  
ギヤオイルです。アワ立ちもきわめて少ない  
ため、ベアリングの腐食や摩耗を防ぎます。



## ME-180（防錆潤滑剤）

防錆、潤滑、防湿、浸透力に優れた金属保護  
液です。



## ユニコンカーコーティング（ワックス）

JAU28360  
塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに  
美しい光沢が得られます。また、どんな塗装  
にも使用できる伸びのよいワックスです。



# 製品仕様

## 寸法

全長  
1855 mm

全幅  
685 mm

全高  
1130 mm

シート高  
785 mm

軸間距離  
1295 mm

最低地上高  
110 mm

## 重量

車両重量  
122 kg

乗車定員  
2名

## 性能

定地燃費 (国土交通省届出値)  
40.0 km/L/60 km/h

最小回転半径  
1900 mm

JAU2633X

## 高出力

7.8 kW@8500 r/min (11  
PS@8500 r/min)

## 最大トルク

9.1 Nm@7500 r/min (0.93  
kgf-m@7500 r/min)

## エンジン

### 原動機種類

4ストローク空冷SOHC 4バルブ

### 気筒数・配列

単気筒

### 総排気量

124 cm<sup>3</sup>

### 内径×行程

52.4 x 57.9 mm

### 圧縮比

9.50 : 1

### エアフィルターエレメント

湿式ろ紙

### クラッチ形式

乾式内拵重錘式

### ミッション・チェンジ方式

Vベルト式無段変速

### 始動方式

セル、キック併用式

## エレクトリカル

点火方式  
TCI

## 車体

フレーム形式  
パイプバックボーン

キャスター  
27.00 °

トレール  
90.0 mm

## ステアリングシステム

ハンドル切れ角 (左)  
48.0 °

ハンドル切れ角 (右)  
48.0 °

フューエルタンク容量  
7.1 L

## フロントブレーキ

ブレーキ形式  
油圧式シングルディスクブレーキ

## リヤブレーキ

ブレーキ形式  
機械式ドラムブレーキ

**懸架方式**

種類 (前)  
テレスコピック  
種類 (後)  
ユニットスイング

**緩衝方式**

ショックアブソーバータイプ (前)  
コイルスプリング / オイルダンパー  
ショックアブソーバータイプ (後)  
コイルスプリング / オイルダンパー

**フロントタイヤ**

種類  
チューブレス  
サイズ  
110/70-12 47L  
メーカー / 銘柄  
CHENG SHIN / C-992N

**リヤタイヤ**

種類  
チューブレス  
サイズ  
120 / 70 - 12 51L  
メーカー / 銘柄  
CHENG SHIN / C-6007

**トランスミッション**

1 次減速比  
38/13 (2.923)  
2 次減速比  
40/12 (3.333)  
変速比  
2.398-0.823 : 1

**ヘッドライト**

ヘッドライト球  
ハロゲンバルブ  
バルブワット数×個数  
ヘッドライト  
12 V, 60 W/55 W × 1  
テール / ブレーキランプ  
12 V, 5.0 W/21.0 W × 1  
方向指示灯 (前)  
12 V, 10.0 W × 2  
方向指示灯 (後)  
12 V, 10.0 W × 2  
メーター灯  
12 V, LED × 2

**パイロットランプワット数×個数**

マーカーランプ  
12 V, 5.0 W × 2  
方向指示器表示灯  
12 V, LED × 1

**ヘッドライト上向き表示灯**

12V, LED × 1  
エンジン警告灯  
12V, LED × 1

**エンジンオイル**

推奨オイル  
ヤマルーブスポーツ、ベーシック

**エンジンオイル量**

定期交換時  
0.90 L

**ファイナルギヤオイル**

指定オイル  
ヤマハギヤオイル  
オイル量  
0.11 L

**ケーブルとレバーの遊び**

リヤブレーキレバー遊び  
10.0-20.0 mm  
スロットルケーブル遊び  
3.0-5.0 mm

**フロントディスクブレーキ**

パッド厚さ (内側)  
6.3 mm  
使用限度  
1.0 mm

# 製品仕様

パッド厚さ (外側)	バッテリー
6.3 mm	バッテリー型式
使用限度	YT7B-BS
1.0 mm	バッテリー容量
指定ブレーキフルード	12 V, 6.5 Ah
BF-4 (DOT 4)	点火タイミング
リヤドラムブレーキ	点火時期 (B, T, D, C.)
ライニング厚さ	10.0° /1700 r/min
4.0 mm	スパークプラグ
使用限度	メーカー / 型式
2.0 mm	NGK/CR7E
ホイールトラベル	プラグギャップ
ホイールトラベル (前)	0.7-0.8 mm
78.0 mm	ヒューズ容量
ホイールトラベル (後)	メイン
95.5 mm	20.0 A
積載量	ヘッドライト
タイヤ空気圧 (冷間時)	15.0 A
前輪 (1名乗車)	テールランプ
175 kPa (1.75 kgf/cm <sup>2</sup> )	7.5 A
後輪 (1名乗車)	シグナル
200 kPa (2.00 kgf/cm <sup>2</sup> )	15.0 A
前輪 (2名乗車)	イグニッション
200 kPa (2.00 kgf/cm <sup>2</sup> )	7.5 A
後輪 (2名乗車)	バックアップ
225 kPa (2.25 kgf/cm <sup>2</sup> )	7.5 A

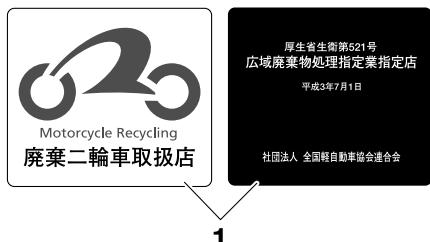
## 二輪車を廃棄する場合は？

### 廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

### 廃棄二輪車取扱店とは？

(社)全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



1

1. 廃棄二輪車取扱店の証

JAU36640

### リサイクル費用とは？

廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用をメーカー希望小売価格に含んでいますので、リサイクル料金はいただけません。

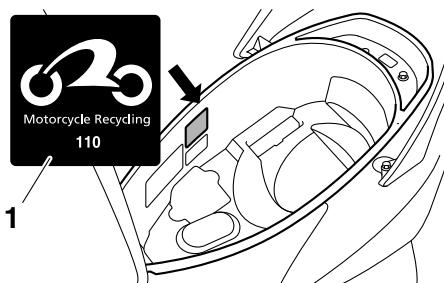
ただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

### 二輪車リサイクルマークの取り扱い

この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。

廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。

剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうかが不明の場合は、下記へお問い合わせください。



1. 二輪車リサイクルマーク

### 廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」または下記へお問い合わせください。

(財)自動車リサイクル促進センターホームページ

<http://www.jarc.or.jp/>

二輪車リサイクルコールセンター

電話番号 03-3598-8075

受付時間 9時30分～17時00分（土・日・祝日・年末年始等を除く）

9

# ユーザー情報

## サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明しています。車の概要や構造を理解するためをご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

シグナス X (XC125)  
サービスマニュアル 部品番号  
基本版：QQS-CLT-000-5UA  
追補版：QQS-CLT-010-28S

※追補版は、マイナーチェンジなどで機構に変更があったときに、その変更部分のみを説明したサービスマニュアルです。基本版とあわせてご使用ください。

JAU28371

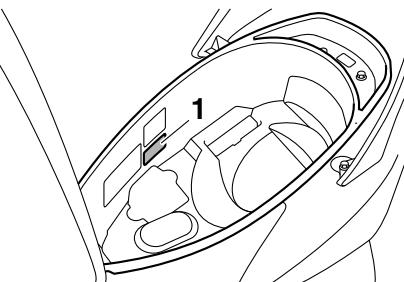
### 車両情報

#### モデルラベル

パートオーダー、アフターサービスなどに使用します。

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。

モデルラベルは、トランク内に貼り付けてあります。



1. モデルラベル

JAU28410

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車名は

シグナス X (XC125)

モデルラベル

製品仕様を示しています。

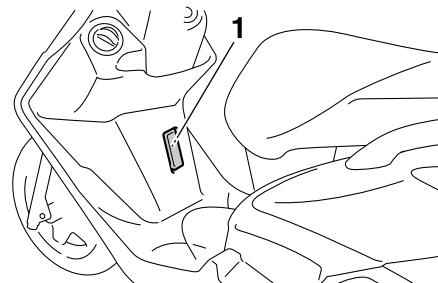


カラーリングを示しています。

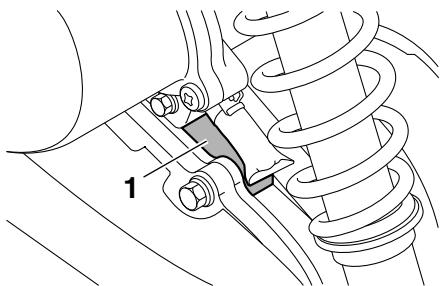


車台番号、原動機番号、型式認定番号  
ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

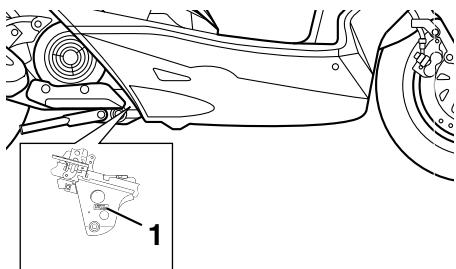
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。



1. 車台番号



1. 原動機番号



1. 型式認定番号









あなたの街のあなたのお店

最寄のお客様相談窓口については、メンテナンスノートの  
巻末をご覧ください。

QQS-CLT-104-28S



ヤマハモーター台湾株式会社  
中壢市中華路2段3號

PRINTED IN TAIWAN  
2012.12-0.7 × 1  
(J)